



1学期終業式について！

4月の入学式・進級から約4か月間、学校生活70日間が過ぎ、1学期のまとめとなりました。新しい学校、新しい学級、新しい学習内容など一生懸命に取り組むことができていました。いよいよ1学期の終業式を迎え、21日（金）からは夏休みが始まります。

1年間の教育活動のスタートの期間である1学期は、各学年の基盤を固める大切な時期でした。学力向上ということでは、学習の要である毎日の授業における学習状況を振り返ることが大切です。終業式の日には渡す通知表をよく見て、1学期における自分の学習状況を把握しておきたいものです。自分を知ることこそが成長の第一歩となります。何ができて何ができていないのか、これを知ることが成長につながるのです。

そして、長い夏休みをどう過ごすのかが、2学期の成長を大きく左右します。様々なことにチャレンジしてほしいと思っています。まずは、各教科の先生から出される課題を中心として学習に取り組み、さらに自主的に1学期の復習や2学期の予習を毎日計画的に行い、実力を身につけていってほしいと思います。また、夏休みには部活動もあります。それぞれの部活動の計画に沿って積極的に参加してください。

一日は短い。しかし、毎日の積み重ねは大きな成果を生みます。人生に一度しかない貴重な中学生の時期、終業式の節目を契機に一日一日を大切に、将来の夢の実現に向けて自分なりの努力をしていってほしいと思います。

終業式が過ぎると、1年のうちで最も暑い日が続きます。熱中症予防など健康管理に気を付けて2学期には全員が元気に登校してきてほしいと思っています。

保護者の皆様、1学期本校の教育活動に対しましてご理解とご協力ありがとうございました。21日から35日間の長い夏休みが始まります。夏休みは、計画的に毎日過ごしてほしいと思っています。

また、健康な生活を目指し、「早寝・早起き・朝ご飯・少メディア」のご協力をお願いするとともに、くれぐれも事件や事故に巻き込まれませんよう、安全面での配慮もどうぞよろしくお願いいたします。



中体連総合体育大会（夏季大会）

3年生最後の大会となる嘉飯地区中体連総合体育大会が実施されています。今年は、保護者の観戦者数の制限もなくなり、多くの保護者の声援があります。今後も出場する生徒への応援をよろしくお願いいたします。出場する生徒は、日頃の練習の成果をしっかりと発揮して悔いのないように頑張してほしいと思います。

各競技の結果と今後の予定をお知らせします。

【野 球】

・6月25日（日） 予選敗退

【サッカー】

・7月2日（日）・8日（土）・15日（土）

予選リーグ 決勝リーグ（6位で筑豊大会へ）※筑豊大会敗退

【バスケット男子】

・7月8日（土）・15日（土）・16日（日）

予選リーグ 決勝リーグ（4位で筑豊大会へ）

◎筑豊大会7月22日（土）・23日（日）（会場：田川市総合体育館）

【バスケット女子】

・7月15日（土） 予選リーグ敗退

【バレー男子】

・7月15日（土）・16日（日）

予選リーグ 決勝リーグ（7位で筑豊大会へ）

◎筑豊大会7月22日（土）（会場：飯塚市総合体育館）

【バレー女子】

・7月15日（土） 予選リーグ敗退

【吹奏楽部】

◎7月29日（土） 吹奏楽コンクール筑豊支部予選（会場：イイツカコスモスコモン）



標準学力分析検査の結果公表

嘉麻市では、全国学力・学習状況調査の結果と学力分析検査の結果を学校のホームページ等で公表しています。今回はフクトの標準学力分析検査の結果の推移等（全学年）を掲載いたします。裏面にも掲載しています。

1. 調査目的等

中学校全学年・義務教育学校(7～9年)の生徒の学力を把握・分析し、学校における教育指導の成果と課題の検証やその改善及び進路指導に役立てる。

2. 学校ごとの指標

標準学力分析検査において、標準偏差値50以上にする。

3. 指標にむけての取組

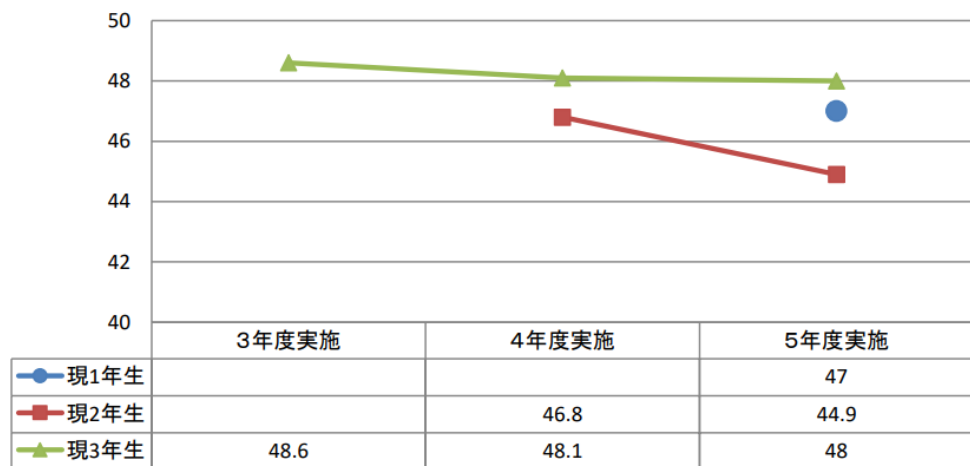
- 授業のグランドデザインをもとにした授業改善。
- 考査前後補充学習の実施。
- 学力層D層生徒への個別の学習支援。

4. 調査結果

※学校平均5年間の推移 (標準偏差値50に対して)

| 年度 | 31年度 (元年度) | 2年度 | 3年度 | 4年度 | 5年度 |
|----------------------|---------------|------|------|------|------|
| 本校(A) | 46.6 | 48.6 | 47.9 | 47.6 | 46.6 |
| 嘉麻市(B) | 48.8 | 48.6 | 47.1 | 46 | 45.5 |
| (A)-(B) | -2.2 | 0 | 0.8 | 1.6 | 1.1 |
| 標準偏差値との差 (A)-(50) | -3.4 | -1.4 | -2.1 | -2.4 | -3.4 |

各学年の推移



5. 各学校における分析

- 1単位時間の授業の流れを全教員で共通理解・共通認識し、学期毎に授業研修(相互参観)を行うことができ、授業力向上を図ることができた。
- D層生徒の支援の充実を図るために、考査後の補充学習を習熟度別で行ったため、手厚い支援を行うことができた。
- 家庭学習の充実を図るために、小学校と連携したノーメディアチャレンジを実施し、脱メディアの取組を行ったが、家庭学習の質と量の向上を図ることができなかった。

6. 各学校における今後の取組

- 授業力向上のために、1単位時間の授業と単元を通じた授業についての研修や授業実践(相互授業参観週間)を行う。
- 学習支援ソフト(電子ドリルキュビナ)を活用し、個に応じた学習支援体制を確立する。
- D層生徒を中心とした家庭学習支援のために、教育相談、家庭学習内容・方法の支援を考査前に行う。

7. 嘉麻市教育委員会としての今後の取組

- ◎ 今後の取組を具体化し推進できるように、特に次の3点について指導助言及び支援を行うとともに、周知徹底できるように継続的に指導する。
 - ◆ 嘉麻市学力向上全体構想に設定した学習評価からの授業づくり(指導と評価の一体化)や思考を伴う「書く活動」を核とした授業づくりの推進する。そのために、指導主事を派遣して校内研修で授業観察指導を実施したり、「書く活動ポイント9」や「授業チェックリスト」を活用できるように指導助言や支援を行ったりする。
 - ◆ 嘉麻市学力向上全体構想に設定した「家庭学習の取組」を推進する。そのために、AIドリルを活用した個に応じた家庭学習課題の推進を図る。
 - また、個に応じた学習課題の提示を進める各学校の取組を交流する場を設定する。
 - ◆ 学力向上検証委員会を開催し、単元テスト評価後の個に応じた習熟度別指導を取り入れた指導方法の工夫を推進する。そのために、習熟度別指導の単元づくりや個に応じた補充プリントの活用の仕方、ICTの利活用について指導する。